

日本研究・知的交流事業に必要な経費

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究客員教授派遣（自主企画）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究客員教授派遣（直接派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究客員教授派遣（経費助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 日本研究教員拡充助成〔欧州・中東・アフリカ〕
- (5) 日本研究リサーチ・会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (6) 日本研究組織強化支援（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (7) 日本研究図書拡充〔欧州・中東・アフリカ〕
- (8) 日本研究機関支援（その他）〔欧州・中東・アフリカ〕

2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究フェローシップ（短期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 知的交流フェローシップ（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (5) 知的交流フェローシップ（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔欧州・中東・アフリカ〕

欧州中東アフリカ交流事業費

日本研究事業費 (1) 日本研究客員教授派遣 (自主企画) [欧州・中東・アフリカ]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、日本から学者・研究者を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。

合計額 1,363,022 円

	事業名	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
1	中東巡回セミナー	高阪 章	大阪大学大学院国際公共政策研究科	エジプト トルコ	カイロ大学政治経済学部 ボアジチ大学	08.02.20～ 08.03.03	高阪章（大阪大学大学院国際公共政策研究科教授）をイスタンブール、カイロに派遣。イスタンブールではボアジチ大学にて、カイロではカイロ大学政経学部にて日本経済に関する講演を実施。カイロ大学では経済を専攻する学部生を対象に、日本経済の今後の見通しや東アジア経済との関わり等より具体的なテーマで講義を実施。

日本研究事業費 (2) 日本研究客員教授派遣 (直接派遣) [欧州・中東・アフリカ]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、日本から学者・研究者を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、日本研究客員教授を派遣する。

合計額 20,636,381 円

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
1	山本 節	浜松学院大学教授	フランス	マルク・ブロック・ストラスブール第二大学	07.10.01～ 08.03.31	伝承文学・伝承学
2	Naghizadeh Mohammad	明治学院大学教授	イラン	テヘラン大学経済学部	07.09.01～ 08.02.29	日本経済、日本の経済思想
3	新免 光比呂	国立民俗学博物館助教授	ルーマニア	ブカレスト大学	07.09.15～ 07.12.15	・日本における作家と社会－村上春樹と夏目漱石 ・現代日本における宗教と社会 ・日本文化論の流行とその時代
4	黒田 壽郎	国際大学教授	エジプト	アインシャムス大学外国語学部	08.02.01～ 08.06.10	言語学概論及び比較言語学論等
5	浦田 義和	佐賀大学教授	エジプト	アインシャムス大学外国語学部	07.10.01～ 07.12.31	文学研究概論及び比較文学研究等

欧州中東アフリカ交流事業費

日本研究事業費 (3) 日本研究客員教授派遣 (経費助成) [欧州・中東・アフリカ]

人文科学、社会科学分野で日本に関する講義を実施するために、日本から学者・研究者を招へいしようとする海外の高等教育・研究機関に対し、招へい経費の一部を助成する。

合計額 2,993,147 円

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
1	藤田 栄史	名古屋市立大学教授	スロベニア	リュブリャナ大学文学部	08.03.25～ 08.04.30	近代日本社会：継続性と変容（客員教授派遣）
2	今井 雅晴	国立大学法人筑波大学名誉教授	ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学	07.08.24～ 07.10.07	日本文化と国際交流
3	白井早由里	慶應義塾大学総合政策学部教授	フランス	国立政治学財団	08.03.01～ 08.07.30	現代国際経済問題、日本経済史・日本経済政策

日本研究事業費 (4) 日本研究教員拡充助成 [欧州・中東・アフリカ]

人文科学、社会科学分野で日本に関する教育・研究のために教育職を新規に設置する海外の高等教育・研究機関に対し、新規採用の人件費を当初3年間に限って助成する。

合計額 12,323,371 円

	機関	国	期間	事業内容
1	デブレツェン大学(3年次)	ハンガリー	06.12.01～ 07.11.30	デブレツェン大学
2	ハイデルベルク大学	ドイツ	07.04.01～ 07.08.31	日本近代文学分野教授の給与助成
3	シェフィールド大学	英国	07.04.01～ 08.03.31	日本ビジネス・経済学講師の給与助成
4	サラマンカ大学	スペイン	07.10.01～ 08.09.30	東アジア学講師の給与助成
5	ザグレブ大学	クロアチア	07.10.01～ 08.09.30	日本史、言語学教員への給与助成

欧州中東アフリカ交流事業費

日本研究事業費 (5) 日本研究リサーチ・会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

日本研究を実施している海外の高等教育・研究機関や学会等が日本に関するグループ研究、調査、学術的な会議、セミナー、ワークショップ等を実施する際に経費の一部を助成する。

合計額 7,469,566 円

	機関	国	期間	事業内容
1	リーズ大学	英国	07.05.01～ 08.03.31	EANMJS現代日本研究ネットワーク (文学)
2	シェフィールド大学	英国	07.05.01～ 08.03.01	EANMJS現代日本研究ネットワーク (担当：政治)
3	ライデン大学文学部 日本・韓国学科	オランダ	07.04.01～ 08.03.31	EANMJS現代日本研究ネットワーク (思想)
4	国立政治学財団	フランス	08.03.15～ 08.03.17	日本の新しい文化力：日本のポップカルチャーとグローバリゼーション時代におけるその役割
5	ミュンヘン大学日本 研究センター	ドイツ	07.04.01～ 08.03.31	EANMJS現代日本研究ネットワーク (経済)
6	英国日本研究協会 (BAJS)	英国	07.03.01～ 07.05.16	英国日本研究協会の2007年度総会開催支援

日本研究事業費 (6) 日本研究組織強化支援 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 22,491,163 円

	機関	国	期間	事業内容
1	ヨーロッパ日本研究 協会	ドイツ	07.04.01～ 08.03.31	ヨーロッパ日本研究協会学会開催
2	ロシア日本研究者協 会	ロシア	07.04.01～ 08.03.31	ロシア日本研究者協会学会開催
3	日本資料専門家欧州 協会	欧州地域区分困難	07.09.19～ 07.09.23	日本資料専門家欧州協会 (第18回研究集会への支援)
4	トルコ日本研究学会	トルコ	07.06.01～ 08.05.31	トルコ日本研究学会が開催する年4回のセミナー・研究会への支援
5	北欧日韓研究学会	デンマーク	07.08.24～ 07.08.26	北欧日韓研究学会第7回総会に対する支援
6	ロシア日本研究者協 会	ロシア	07.04.01～ 08.03.31	ロシア日本研究者協会が提供するスカラシップ支援

欧州中東アフリカ交流事業費

日本研究事業費 (7) 日本研究図書拡充 [欧州・中東・アフリカ]

日本研究機関支援の一部として、対象機関が日本研究の推進に必要な図書を寄贈し、あるいはその購入経費を助成する。
合計額 3,685,841 円

	機関	国	部数	事業内容
1	マルク・ブロック・ストラスブール第二大学	フランス	47	日本研究に資する研究書の寄贈
2	アイスランド国立大学	アイスランド	76	日本研究に資する研究書の寄贈
3	ハイデルベルク大学	ドイツ	46	日本研究に資する研究書の寄贈
4	シェフィールド大学	英国	44	日本研究に資する研究書の寄贈
5	ヴィータウタス・マグナス大学	リトアニア	19	日本研究に資する研究書の寄贈
6	サラマンカ大学	スペイン	51	日本研究に資する研究書の寄贈
7	タシケント国立東洋学大学	ウズベキスタン	30	日本研究に資する研究書の寄贈
8	ルーヴァン・カトリック大学	ベルギー	41	日本研究に資する研究書の寄贈
9	ブカレスト大学	ルーマニア	58	日本研究に資する研究書の寄贈
10	カイロ大学政治経済学部	エジプト	31	日本研究に資する研究書の寄贈
11	ザグレブ大学	クロアチア	44	日本研究に資する研究書の寄贈

日本研究事業費 (8) 日本研究機関支援 (その他) [欧州・中東・アフリカ]

対象機関が日本研究の成果を出版するための経費を助成する、あるいは、対象機関の教員・学生等による訪日研究・研修を支援する等。

合計額 14,932,862 円

	機関	国	期間	事業内容
1	ロシア科学アカデミー現代日本研究センター	ロシア	07.04.01～ 08.03.31	雑誌購送、紀要発行の発行、論文コンテスト、学術プロジェクト等経費を包括的に支援。過去5年間の事業評価を実施。
2	極東国立総合大学	ロシア	07.04.01～ 08.03.31	訪日研修、ロシア国内研修、論便執筆謝金、出版援助、事務局経費、図書寄贈等の包括的支援。

人物交流事業費 (1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 61,679,433 円

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
1	TODOROVA, Stela Atanasova	農業大学準教授	ブルガリア	筑波大学	06.11.01～ 07.10.31	比較分析1950-2005の日本およびブルガリアの農業政策
2	ZULAWSKA-UMEDA, Agnieszka	ワルシャワ大学東洋学院日本学科助教授	ポーランド	東京大学大学院人文社会系研究科	06.10.07～ 07.10.06	俳諧における付合の研究
3	LIM, Sofya Chununovna	サハリン国立大学教授	ロシア	北海道大学大学院教育学研究科	06.09.06～ 07.09.04	ロシア(サハリン)、日本(北海道)および北アメリカ(カナダ、北極、またアラスカ)の固有の民族の同時代の社会的適応における教育の役割
4	PALKIN, Alexei Dmitrievich	モスクワ経済学・言語学大学助教授	ロシア	大阪大学言語文化部	06.11.09～ 07.11.08	日露言語意識比較
5	SNITKO, Tatiana Nikolayevna	ロストフ国立経済大学教授	ロシア	東京大学文学部	06.10.01～ 07.10.01	言葉の理解：日本文化とロシア文化
6	SANINA, Ksenia Gennadievna	極東国立総合大学東洋学大学助教授	ロシア	京都大学	06.06.01～ 07.04.30	明治時代の現代日本文学の起源及び発展
7	KHISAMUTDINOV, Amir Aleksandrovich	極東国立工科大学教授	ロシア	国士舘大学アジア科	06.09.01～ 07.08.31	ロシアにおける日本文化の普及
8	GAFUROVA, Hakima	世界経済外交大学日本語講師	ウズベキスタン	早稲田大学	06.09.16～ 07.08.15	日本文学と芸能を通してみる日本人の自殺観
9	VAN GOETHEM, Ellen E.M.A.	アントワープ大学助教授	ベルギー	立命館大学文学部	07.01.31～ 08.03.11	長岡京遷都に対する宗教の考えの影響
10	CARLQVIST, Anders	ヨーテボリ大学 研究員	スウェーデン	島根大学	06.10.01～ 07.09.30	日本国家成立過程における古代出雲
11	KOUAME, Nathalie	フランス国立東洋言語文化学院 (INALCO) 助教授	フランス	東京大学資料編纂所	07.07.15～ 07.11.14	長崎・島原・天草のキリシタン・中世末から近世初期にかけて

欧州中東アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
12	MWAIGOMOLE, Emmanuel Asukenye	ダル エス サラム大学開発研究所	タンザニア	神戸大学大学院国際協力研究科	07.05.29～ 08.04.28	経済発展のための公私協働
13	MADSEN, Yasuko	イエーテボリ大学 東洋アフリカ言語学 科教授（文学博士）	スウェーデン	琉球大学 法文学部	07.09.01～ 08.08.31	琉球方言におけるイントネーション体系の研究
14	VOROS, Mihaly, Laszlo	近代経営学術大学国際経済学科/ 教授	ハンガリー	早稲田大学	08.03.18～ 09.03.17	日本における農村社会の形成に関する研究：中東欧の持続可能な農村開発に対する政策的含意
15	ZHILINA, Larisa Vladimirovna	オムスク国立大上級講師	ロシア	日本女子大学	07.05.11～ 07.11.09	21世紀初頭日本におけるロシア及びロシア人に対する世論形成：比較研究
16	KOMORI, Naoko	英国マンチェスター・ビジネス・スクール（投資リスク研究所） 会計・財務/研究員	英国	同志社大学、同志社大学ワールドワイドビジネス研究センター	08.01.10～ 08.07.10	グローバリゼーションの日本企業・社会の影響：会計基準調和化が日本企業のコーポレート・ガバナンスに与える影響とグローバリゼーションによる金銭教育（フィナンシャル・リテラシー）の重要性
17	BREEN, John Lawrence	ロンドン大学 SOAS 日本研究センター、 教授	英国	京都大学人文科学研究所	08.02.25～ 08.07.24	日吉大社：近世、近代現代日本における神社と神道を吟味する
18	KOZHEVNIKOV, Vladimir Vasilyevich	極東総合大学 附属東洋学大学の日本語学部教授	ロシア	京都大学	07.07.01～ 07.09.27	日本史における怨霊の思想
19	DOMENIG, Roland	ウィーン大学 東アジア研究所講師	オーストリア	明治学院大学	08.02.03～ 09.01.31	日本におけるスクリーンプラクティス（映写文化活動）1800～1920
20	SHEVTSOVA, Galyna Viktorovna	キエフ国立建設・建築大学 建築/助教授	ウクライナ	近畿大学	07.06.15～ 08.06.14	日本・ウクライナの木造建築の技法と初期形成過程の比較研究
21	BIENATI, Luisa	ベネチア大学 外国語学部東アジア学科助教授	イタリア	早稲田大学	07.11.12～ 08.02.11	モダン都市空間と谷崎潤一郎の青年文学
22	PIERCONTI, Jong Kuk Mauro	ヴェネツィア 建築大学建築史学科・研究者	イタリア	東京大学生産技術研究所	07.09.02～ 08.08.29	白井晟一と日本現代建築（1905-1983）

欧州中東アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
23	RASULOV, Abdujabar	世界経済外交 大学数理経済 学科/教授 副学長兼務	ウズベキスタ ン	早稲田大学	07.08.15～ 08.07.14	中央アジアにおける実証経済分析のた めの数学的手法の応用研究

人物交流事業費 (2) 日本研究フェロシップ (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 55,431,066 円

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
1	BARBARO, Paolo	国立高等研究 院宗教学部博 士課程	フランス	三重大学	06.10.01～ 07.10.31	日本の参詣－紀伊半島の地域調査
2	SOLIMAN, Alaaeldin Elhassan	カイロ大学文 学部日本語日 本文学科講師	エジプト	東洋大学文学 部	06.08.01～ 07.09.30	所有構文－アラビア語エジプト方言と 日本語の対照研究－
3	GOTTARDO, Marco	コロンビア大 学修士課程	イタリア	東京大学大学 院人文社会系 研究科	06.09.01～ 07.10.31	江戸時代における大衆宗教について
4	LOBETTI, Tullio, Federico	ロンドン大学 修士課程	イタリア	慶應義塾大学	06.05.15～ 07.05.15	現代日本宗教の文脈における肉体と修 業
5	COOK, Emma, Elizabeth	ロンドン大学 修士課程	英国	筑波大学	06.08.01～ 07.08.01	現代日本におけるフリータ：男性性民 族学
6	TAKAGI, Siu mei	ケンブリッジ 大学修士課程	英国	金沢大学	06.05.10～ 07.04.09	初期江戸時代における、女性、教養と 読書
7	DAY, Kikutsubo G.M.M	ロンドン大学 修士課程	英国	大阪芸術大学	07.02.01～ 07.08.01	過去を思い出す：現代情勢における古 来尺八
8	MENGEL, Maria-Mihaela	ケルン大学 日本学研究所 博士課程学生	ドイツ	京都大学大学 院 地球環境 学室	06.10.01～ 07.09.30	愛の浮世－アニメ、アイデンティティ、 また日本
9	KHALMURZAEVA, Nadira	タシケント国 立東洋学大学 日本語講師	ウズベキスタ ン	早稲田大学日 本語教育研究 科	06.06.01～ 07.08.01	日本語研究
10	NARKHODJAEVA, Nigora Faizullaevna	タシケント国 立東洋学大学 教師	ウズベキスタ ン	東京大学	06.10.01～ 07.10.01	芥川の創作における個人的概念考察

欧州中東アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
11	GODART, Gerard, Rainier, Clinton	シカゴ大学歴史	オランダ	京都大学大学院	06.09.01～ 07.08.30	現代日本哲学の起源：明治期における解釈と区別の問題
12	RANGUELOVA, Silvia Atanassova	オックスフォード大学東洋学学部学生	ブルガリア	上智大学	07.06.21～ 08.01.20	日本外交における人権
13	EHLERS, Maren Annika	プリンストン大学東アジア研究	ドイツ	大阪市立大学	07.09.01～ 08.08.31	徳川時代の貧民救済：大野藩の事例
14	EL-AMIR, Nilly, Kamal	カイロ大学政治経済学部アジア研究センター研究者	エジプト	早稲田大学	07.12.01～ 08.12.28	環境安全保障に対する見解：日米対照研究
15	HOEY, Fintan Andrew	アイルランド国立大学ダブリン校 ユニバーシティ カレッジ ダブリン 大学院文学・ケルト族学研究科歴	アイルランド	京都大学文学研究科	07.10.01～ 08.02.28	佐藤政権期の外交政策
16	MATE, Zoltan	カーロリ・ガシュパール大学、文学部、日本学科助教授	ハンガリー	明海大学外国語学部日本語学科	07.06.02～ 07.10.01	日本の文学政策の諸相
17	TOMPKINS, Juliet, Margaret	オックスフォード大学博士課程、国際関係	英国	神戸大学	07.08.20～ 07.12.19	日米同盟の発展 1978-2004
18	OKSBJERG, Ellen Jane	ロンドン大学SOAS美術・考古学科博士課程	デンマーク	九州大学 六本松キャンパス	08.01.01～ 08.09.30	弥生時代考古学、陶器装飾
19	KARPOLUK, Jakub Aleksander	ポーランド国立学問学院芸術研究所、博士課程学生	ポーランド	早稲田大学	07.09.01～ 08.07.31	日本演劇の日本映画への影響

欧州中東アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
20	WOLSKA-LENARCZYK, Joanna Kamila	ヤギェウオ大 学文学部東 洋学研究所日 本中国学科/ 博士論文執筆 者	ポーランド	東京大学文学 部・大学院人 文社会系研究 科	07.10.01～ 08.11.30	三島由紀夫の「豊饒の海」における美 学と道徳の規範
21	GRIKUN, Yuliya	キエフ国立原 語大学哲学 部、大学院生	ウクライナ	国際基督教大 学	07.08.29～ 08.10.28	グローバル社会における異文化コミュ ニケーションに関する日本とウクライ ナの比較研究：国際化の時代において 伝統主義や民族意識はいかに保たれる のか
22	CIUBANCAN, Magdalena	バベシュ・ポ ヨイ大学言語 学 講師補助	ルーマニア	神戸大学	07.09.01～ 08.06.30	日本のメディアにおける使役の表現
23	JAGER, Heide	マンチェス ターメトロポ リタン大学、 ミリアダ	英国	法政大学	07.05.13～ 07.12.22	路地：日本におけるストリート空間の 考察 都市部の裏道散策
24	KOZIOL, Gabriele	マックス・ブ ランク外国 法・国際私法 研究所 博士 課程	オーストリア		08.03.15～ 08.11.21	担保としての知的財産ライセンス
25	BINCSIK, Monika	ホップ・フェ レンツ東洋美 術館（ブダペ スト工芸美術 館）日本美術 担当学芸員	ハンガリー	昭和女子大学	07.03.27～ 08.01.25	明治期の古美術商会史－ヨーロッパで の日本工芸品、特に漆器の収集活動史、 ハンガリーを中心に

人物交流事業費 (3) 日本研究フェローシップ(短期) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 10,699,651 円

	関連人物姓名	現職	在住国	関連機関名称	期間	事業内容
1	ATLAN, Corinne	翻訳家・作家	フランス	東京大学大学 院人文社会系 研究科	07.06.15～ 07.08.13	翻訳家の立場から見た今日における日 本文学の進化や傾向
2	LAURENT, Stephane	パリ第1大学 ／国立美術史 研究所教授	フランス	東京大学	07.06.25～ 07.08.20	文化、スタイル、グローバリズム：日 本への装飾伝播

欧州中東アフリカ交流事業費

	関連人物姓名	現職	在住国	関連機関名称	期間	事業内容
3	LARIN, Victor	ロシア科学アカデミー極東支部極東諸民族歴史・考古・民族学研究所所長	ロシア		07.08.18～ 07.10.16	北東アジアの安全保障における中国問題：21世紀初頭日ロ関係への影響
4	HEINRICH, Patrick	デュイスブルク-エッセン大学東アジア研究所研究員	ドイツ	琉球大学	07.07.10～ 07.08.18	琉球諸島における言語取替え
5	KEVENHOERSTER, Paul Johannes	ミュンスター大学社会科学研究所名誉教授	ドイツ	早稲田大学政治経済学術院	07.09.15～ 07.11.13	日本のODA政策評価
6	ZACHMANN, Urs Matthias	ミュンヘン大学 (LUM)、日本学科助教授	ドイツ	東京大学法学部	07.08.13～ 07.10.07	戦間期・戦後期の日本における国際法思想の形成と発展、1919年-1951年
7	SAUNDERS, Rachel, Mary	ボストン美術館東洋美術部研究助手	英国	慶應義塾大学文学部	07.05.10～ 07.06.24	美女と野獣：御伽草子のおとぎの国、絵巻から版本まで
8	PETKOVA, Gergana Rumeno	ソフィア大学日本語学科哲学部講師	ブルガリア		07.08.07～ 07.10.05	日本民俗学教科書：学生向け日本の文学、民俗学、哲学、生活に関する入門書
9	SHAOUL, Raquel	テルアビブ大学東アジア研究学科	イスラエル	早稲田大学	07.07.01～ 07.08.29	日本のエネルギー政策の展開について：ペルシア湾岸からのエネルギー供給確保に対する傾向と展望について
10	ZARVANI, Mojtaba	テヘラン大学教授	イラン		07.07.23～ 07.08.23	仏教とシーア派イスラームの比較研究

人物交流事業費 (4)知的交流フェローシップ（派遣）〔欧州・中東・アフリカ〕

諸外国において人文・社会科学分野の研究を行う日本の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 4,969,815 円

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
1	二神 枝保	横浜国立大学国際社会科学研究所 助教授	スイス	国際労働機関、国際労働研究所、チューリッヒ大学	07.10.01～ 08.09.30	スイスでILOおよびチューリッヒ大学の非正社員の雇用状況を研究し、男女の格差を把握しながら日欧比較研究を行う。キャリア管理および人材開発を検討し、新動向を考察。

欧州中東アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	受入機関	期間	事業内容
2	山下 龍一	北海道大学 大学院公共政策学連携研究部 教授	ドイツ	トリアー大学 環境・技術法 研究所	07.08.19～ 07.11.18	ドイツにおいて環境政策の転換を可能にした社会的背景、社会受容システムの構造についての研究。ドイツ、トリアーに滞在し、環境保護団体、自治体、中央省庁関係者へのヒアリング等、調査を実施。

人物交流事業費 (5)知的交流フェローシップ (招へい) [欧州・中東・アフリカ]

日本において人文・社会科学分野の研究を行う諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 26,159,137 円

	氏名	現職	国	期間	事業内容
1	KRAVALIK, Zsuzsanna	Studio Metropolitana Urban Research Centre 研究者	ハンガリー	07.03.18～ 07.04.24	日本の住宅地域の建設的社会的デザイン
2	GRAVENIR, Frederick Quaye	ケニヤッタ大学 教授	ケニア	07.03.02～ 07.04.19	大学における研究の優先化：日本とケニアにおける比較研究
3	KUN, Attila Sandor	カーロリ大学法 学部労働法社会 保障学科准教授	ハンガリー	08.01.08～ 08.02.06	日本におけるCSR
4	KOMETA, Richard Kwang	カメルーン・ト リビューン 編 集	カメルーン	07.11.06～ 07.12.15	カメルーンにおける電子商取引の課題：日本の経験からの教訓
5	POSTUVAN, Vita	リュブリャナ大 学社会心理学博 士課程	スロベニア	07.10.26～ 07.12.21	自殺の社会的表象
6	ATABAKI, Behzad	behzad atabaki and associates 建築士	イラン	07.10.25～ 07.12.21	新進の建築家であるフェローが、「光と影」をキーワードに日本の現代建築とその伝統からの影響について、フィールドワークを中心とした調査を行う。
7	KUTUYEV, Pavlo	モヒラ・アカデ ミー社会学教授	ウクライナ	07.11.05～ 07.12.14	「ウクライナと日本の行政エリートの政治文化：比較研究」をテーマとして、資料収集や関係者とのネットワーク構築を主とする研究活動を行う。
8	MELNIKOVA, Julija	クライペダ大学 准教授	リトアニア	07.11.06～ 07.11.30	学校長の能力開発システム

欧州中東アフリカ交流事業費

	氏名	現職	国	期間	事業内容
9	LUKONIN, Sergey Alexandrovich	ロシア科学アカ デミー極東研究 所大学院生	ロシア	07.11.20～ 08.01.10	北東アジア諸国の経済発展における国家間協力の役割
10	NAKABUGO, Marry Goretti	マケレレ大学教 育学科上級講師	ウガンダ	08.01.08～ 08.02.28	ウガンダの初等教育における持続可能な専門能力開発の達成：日本の授業研究からのアプローチ
11	RATSIMBAZAFY, Andriamihaja Marcellin	マダガスカル国 営TVジャーナ リスト	マダガスカル	08.01.17～ 08.02.26	農業開発分野における日・アフリカ協力
12	KASYMOVA, Nazokat Anvarovna	世界経済外交大 学教授	ウズベキスタン	08.02.27～ 08.03.28	アジアの地域主義と日本：モデル、挑戦、リーダーシップ
13	RATZ, Tamara	コドラーニイ・ ヤーノシュ大学 学部長	ハンガリー	08.03.17～ 08.04.18	健康志向レジャーの社会経済的環境の側面
14	GOAGEA, Silvia Cosmina	“Arhitectura review”誌 プロジェクトマ ネージャー	ルーマニア	08.02.04～ 08.03.09	創造的都市設計と新しい都市画像 - 日本の都市

	氏名	現職	国	期間	事業内容
15	中東グループ招へい (11名)			07.10.28～ 07.11.18	フェローは同じ宿舎に滞在し、日本に関するレクチャー、ワークショップ、地方都市への視察旅行、研究発表会等に参加し、日本に関する多角的な知識を得る。
	Fatima Afmad, AL-YOUSEFI	サナア大学自然科学部化学科准教授	イエメン		
	Mina, MEHRNOUSH	テヘラン大学経済調査開発研究所副所長	イラン		
	Mohammad, AVATEFI HEMMAT	テヘラン大学林学・森林経済研究所博士	イラン		
	Shadad Masoud, AL-MUSALMI	オマーン・デイリー・オブザーバー紙記者	オマーン		
	Faisal Mohsen, NASER ALI	アル＝ワタン紙記者	クウェート		
	Mehmet, YUVA	ダマスカス大学歴史学部准教授	シリア		
	Rasheed, ABDUL HADI	ダマスカス大学英語学部専任講師	シリア		
	Mitat, CELIKPALA	トルコ商工会議所連合大学国際関係学部准教授	トルコ		
	Ziad Saleh, QANNAM	アル・クドゥス大学大学院准教授	パレスチナ		
	Nizar Nabin, ABOU-JAOUDE	レバノン大学社会科学部調査室アナリスト助手	レバノン		
	Israa Adel El-Sayed Ahmed, EL-HOUSAINY	カイロ大学政治経済学部助手	エジプト		

欧州中東アフリカ交流事業費

催し等事業費 (1)知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 26,669,061 円

	事業名	国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日露フォーラム フォローアップ	ロシア	戦略策定センター	07.04.10～ 08.03.31	「グローバル化の中でのアジア太平洋地域における日露関係の展望」を主題として、日露両国をとりまく様々な課題を議論するフォーラムを平成19年3月19-20日に開催し、両国の有識者や政府関係者による意見交換を実施。右報告書作成に関する経費。
2	ロシアにおける 日本研究連続講座	ロシア		07.04.26～ 08.03.31	対日関心が高まる一方、日本についての専門的な知識を得る機会が限られているロシアの学生や一般市民を対象に、ロシア人日本研究者による連続講義をモスクワにおいて実施。また、地方においても対日関心の喚起を図るため、出張講座も実施。
3	アルザス日欧知的 交流事業／日本 研究セミナー 「江戸」	フランス	アルザス・欧州 日本学研究所 (CEEJA)	07.12.13～ 07.12.16	日本研究フェローOBを中心とした欧州域内日本研究者による合宿形式のセミナー。アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)との共催。今年度のテーマは「江戸」。
4	日・アラブ会議	エジプト		07.11.20～ 07.11.21	アラブ諸国20カ国以上から200～300人、日本から100人ほどの参加者が一同に会する日・アラブ会議(アレキサンドリア図書館主催)に参加。国際交流基金は、四つの分科会(政治、経済、文化、科学・環境)のうち、文化・社会分科会「日本とアラブの文化・社会相互認識－グローバル化の中の普遍性と固有性－」を担当し、日本よりパネリストとして、青木保(文化庁長官)、道傳愛子(NHK解説委員)、足羽與志子(一橋大教授)、佐野洋子(セント・ジョセフ大学)学術交流日本センター副所長/レバノン)、及び小倉和夫(国際交流基金理事長)を派遣。
5	民主主義の諸相	ドイツ	ベルリン日独センター	07.11.27～ 07.11.28	「21世紀の市民社会にどのような形の民主主義が必要であるか」を検討するため、3つのセッションのうち「公共哲学としての民主主義」では思想的問題について、「市民社会」、「メディア」では現実的問題についてパネリストが討議するシンポジウム。
6	トルコ・イスラ エルとの対話事 業フォローアップ	トルコ イスラエル パレスチナ		08.02.01～ 08.03.31	2007年6月3日～9日に実施したトルコ・イスラエル・パレスチナにおける「日本・中東知的対話」のフォローアップ事業として、概要および背景論文を掲載した報告書を作成。

欧州中東アフリカ交流事業費

	事業名	国	共催・協力機関	期間	事業内容
7	講演会「ヨーロッパ人という感覚－現状、文化、芸術の役割」			08.03.14	ヨーロッパにおける、国境を越える人々の移動が促す個人・国民・国家のアイデンティティの新しい様相について、IETM/国際現代舞台芸術ネットワーク事務局長で、欧州委員会より欧州における労働者のモビリティ賞（2006年）を受賞したマリー＝アン・ドゥヴリーグ氏が、主に芸術家や芸術に携わる人々の例をひきつつ、講演。
8	中東巡回知的交流セミナー	オマーン カタール サウジアラビア		08.03.27～ 08.04.04	「日本・中東間知的対話～『現代世界で女性が働くこと』をめぐって～」をテーマに、湾岸各国の関心層（研究者、ビジネスマン、学生）を対象とし、日本の労働問題・家族政策・男女共同参画・少子化対策をテーマとする研究者・実務家各一名、および中東の女性問題に詳しい研究者一名が日本から参加し、一般向けのセミナーを開催。
9	Family and Work - 家庭と仕事を支える政策実現に向けて	ドイツ	アデナウアー財団	08.03.25～ 08.03.26	日、ドイツ両国の専門家が集まり、家庭と仕事をテーマにしたワークショップとシンポジウムを実施。

催し等事業費 (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕

日本と諸外国の相互理解の促進とより緊密な関係の構築、世界の知的交流の推進することを目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 49,640,504 円

	事業名	助成機関	国	期間	事業内容
1	グローバルゼーションの中の日中関係：開発戦略と経済関係	日仏会館財団法人フランス事務所	日本	07.05.26～ 07.05.27	日本、中国、米国、欧州からの研究者を招へいし5月26日～27日の2日間にわたる国際シンポジウムを東京日仏会館にて開催。中国と日本というアジアにおける2つの経済大国の発展について比較検証。日中の開発戦略の比較、中国、日本経済それぞれの特徴について分析、それに続き日中両国の経済的な関係を議論し、最終日は「アジアにおける経済ヒエラルキーの変化と国際的な影響について」というテーマでラウンドテーブルを開催。
2	国際シンポジウム「宗教多元主義と対話の課題－西洋・中東・日本」	南山大学宗教文化研究所	日本	07.04.01～ 07.06.30	西欧と日本が共有してきた宗教学・宗教社会学的な宗教多元主義の理解と、中東地域における宗教多元主義の可能性についての展望を共有し、中東地域における多元主義の立場に立った宗教間、文明間の対話の可能性を模索するための国際会議及びシンポジウムで、宗教学の分野で国際的に活躍する研究者及び若手研究者が集い討論を実施。

欧州中東アフリカ交流事業費

	事業名	助成機関	国	期間	事業内容
3	未来につながる歴史と経験：ロシアとその近隣諸国との関係	エストニア外交政策研究会	エストニア	07.04.05～ 07.06.12	日本、エストニア、ラトビア、リトアニア、フィンランド、ノルウェーを対象として、それぞれの国が、隣国であるロシアといかなる政治・外交関係を築いてきたかを、特に国境問題に焦点を当てて議論。各国の歴史や立場を報告し合うことで、相互の経験から学びあい、この問題に関する一般の関心を高めると共に、参加者同士のネットワークを構築することも目指す。
4	国際会議&シンポジウム「2008年G8サミットに向けて日本の市民社会ができること」	特定非営利活動法人国際協力NGOセンター	日本	07.07.01～ 07.12.31	2008年に行われるG8サミットに向けて、日本のNGOがミレニアム開発目標（MDGs）に関し、どのような提言活動や啓発活動ができるかを議論する会議を開催。
5	日・黒海地域対話「激動する世界における日本と黒海地域」	グローバル・フォーラム	日本	07.11.21	「激動する世界における日本と黒海地域」をテーマに、同地域諸国の政策担当者、EU委員会、同地域を専門とする日本の研究者等の参加のもと、欧州、中東、中央アジアに接し、エネルギー回廊として、また国際安全保障の観点からも戦略的重要性を有する黒海地域の情勢と関係諸大国の動向、同地域の戦略的重要性、同地域発展のための日本の展望などについて議論を実施。
6	知の統合プロジェクト 2007年 アート&サイエンス・フェスティバル	財団法人 国際文化交流推進協会	日本	07.09.01～ 08.01.31	2006年度に開催した「次世代文化フォーラム：アート・テクノロジー・サイエンスの領域を越えて」を次の段階へと発展させるために今回のフェスティバルを開催。テーマは脳科学。
7	エチオピア歴史遺産会議2007	エチオピア歴史遺産会議2007実行委員会	日本	07.04.12～ 07.04.13	アフリカ、特にエチオピアの歴史遺産保護問題を中心とする会議。主に3つのセクションに分かれている。1.「エチオピアの文化遺産」：多国の専門家は歴史遺産の価値について議論する。2.「歴史都市と持続的開発」：都市計画のあり方について議論する。3.「遺産保護のための社会教育とガバナンス」：専門家育成、社会教育、社会計画について議論。
8	外国人労働者－人口動態変化とグローバル化	ドイツ－日本研究所	日本	07.10.23～ 07.10.24	少子高齢化に伴う労働人口の減少と、それを補うための労働移民について、政策及び移民受け入れの法的な側面について日・独両国の状況を比較・検証し討議。10月23日～24日の2日間、東京にて国際シンポジウムを開催。現在の政治経済的状况を包括的に捉えるため、研究者のみならず政策関係者、また草の根レベルで移民受入に携わるNPO、NGO関係者等を交え議論。

	事業名	助成機関	国	期間	事業内容
9	ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流 2006-2007	ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流委員会	日本	07.04.01～ 07.07.31	2001年に開始された「日本・ヨーロッパ建築の新潮流」を拡大させた企画である。欧州、日本にアジア諸国からの若手建築家を参加させ、住居、公共建築、都市計画などの複数分野でのシンポジウム、ワークショップ、国内の大学での講義、展示会を実施。
10	2007日ロ友好フォーラム	日本・ロシア協会（全国組織）	日本	07.10.05～ 07.10.10	2006年10月、日ロ国交回復50周年を記念して、モスクワにて日ロ友好フォーラムが開催されたが、その際、更なる日ロ友好の発展を図るため、このフォーラムを今後も継続して行うことがロシア側の主催団体であるロシア21世紀委員会との間で合意された。今年度の会議は「両国関係の新地平を拓くために」と題し、政治、経済、文化などの幅広い分野について議論。
11	第5回日ロ学術・報道関係者会議	日本対外文化協会	日本	07.09.18～ 07.09.22	2003年より実施されてきた会議の5回目。従来は、「北東アジアの発展と安定」を総合テーマとして、日ロの学者・ジャーナリストが意見交換を行ってきたが、北朝鮮や中東の情勢、中国やインドの台頭といった新たな国際状況に対応したより広い視座にて議論を実現するため、今年度は「ユーラシアの新秩序を模索する」とメインテーマとして秋にモスクワで会議を開催。
12	デジタルメディアの社会理論 次世代社会構想のための世界会議	国際メディア理論会議 (UMAT)実行委員会	日本	07.04.13～ 07.09.30	今日激変しているメディアの世界を説明する従来のメディア理論はもはや適切ではなく、新しい理論的枠組みが求められている。その新しいパラダイムを世界に宣言するために国際会議を開催。多国の研究者の議論を通し、新しい理論的モデルを構想する。4日間にいくつかの基調講演、また多種多様なミニ・セッションを同時に開催。
13	シーボルトコレクション会議	ライデン民族学博物館	オランダ	07.07.25～ 07.07.27	シーボルトハウスの関係3博物館所蔵コレクションを江戸期の文化史理解の増進に役立てるべく、その活用法につき日蘭の研究者が討議する3日間の国際会議。
14	国際シンポジウム「グローバリゼーションを背景とした歴史教育における我々の他者に対するイメージ」	欧州評議会	欧州地域区分困難	08.03.27～ 08.03.28	欧州評議会における3年計画のプロジェクト。歴史教育における他者のイメージを検証。多文化社会において歴史をどう学ぶか、和解、相互理解やステレオタイプ克服、信頼回復のために異なる歴史を学ぶということについて議論。欧州評議会本部（ストラスブール）にて2008年3月の2日間国際シンポジウムを開催。
15	21世紀のロシアと日本社会における行政：伝統と改革	モスクワ国立大学	ロシア	07.05.31～ 07.06.02	高齢化や障害者のための医療、社会保障の問題等、ロシアと日本が共通して直面する社会的な問題について、3日間の会議の中で両国の経験や立場を共有し、今後のロシアの社会政策に関する提言を策定。

欧州中東アフリカ交流事業費

	事業名	助成機関	国	期間	事業内容
16	日欧の忘れ去られた地域	ベルリン日独センター	ドイツ	07.09.19～ 07.09.21	地方の空洞化が著しい日欧で、過疎化した地域の公共サービスの低下、経済の停滞等の問題を、政治的・文化的背景を日独で検証する。2007年秋にベルリンにて国際シンポジウムを開催。
17	『文明間対話』からグローバルな対話文化へ	ベルリン日独センター	ドイツ	07.12.03～ 07.12.04	文明間の衝突に日欧が共有できる政策的アプローチを探る。日本のイラクにおける経験や、ドイツのボスニア・ヘルツェゴビナにおける経験をふまえて、東南アジアや中東地域でおきている紛争に、今後日本とヨーロッパがどのように協力することができるか討議。東京で国際シンポジウムを開催。
18	日本人ディアスポラと日本におけるディアスポラ	デュッセルドルフ大学	ドイツ	07.10.03～ 07.10.07	従来、世界的視野で研究されることのなかった「日本人移民(日本人ディアスポラ)と在日外国人(日本のディアスポラ)」について、文化人類学、社会学、文学等、異なる分野の専門家が一同に会する会議。
19	日本の変貌 1900-2000 -文明の進化と革新を目指して-	ヤギェウォ大学	ポーランド	07.10.24～ 07.10.28	ポーランド国内において日本学科を有する3大学のうちの2つ、ヤギェウォ大学及びアダム・ミツキェヴィッチ大学が2007年に日本学科創設20周年を迎えることを記念し、両大学が共同して実施する日本研究国際会議。2大学の他、日本美術技術センターやポーランド日本学研究会も参加予定で、欧米の日本研究者及び日本人研究者も一堂に会し、20世紀以降の現代日本の文化・歴史事象に関する研究発表を実施。
20	日本およびノルウェーにおける高齢者介護	ノルウェー科学技術大学	ノルウェー	07.09.20～ 07.09.21	高齢化に伴い、社会福祉制度の改善が必要になる。本会議は日本とノルウェーと比較するためのものであり、各国の福祉モデルの長短を照らし合わせて検討。
21	海外日本研究司書のための古書資料ワークショップ	ジャパン・ライブラリー・グループ 天理ワークショップ準備委員会	英国	07.04.01～ 08.03.31	欧州、北米において和漢古書資料の目録作成・管理ができる人材を育成することを目的として、日本研究専門司書を対象にした6日間のワークショップを天理大学附属天理図書館の協力で実施。
22	ASKプロジェクト	センサリー・トラスト	英国	07.06.20～ 07.06.22	日英両国での共通課題である健常児、障害児がともに快適に遊ぶことのできる公的な野外遊びの環境づくりとマネジメントについて、日英両国で実際に青少年から聞き取り調査を行い、また成功している施設を見学した上で、東京とロンドンで会議を開催。

欧州中東アフリカ交流事業費

	事業名	助成機関	国	期間	事業内容
23	第7回 IIASA-DPRI総合的リスクマネジメント会議 「災害への対処：21世紀の課題」	国際応用システム研究所 (IIASA)	オーストリア	07.09.19～ 07.09.21	ウィーンに拠点を置き、環境、経済、技術、及び社会問題を学際的に研究する研究所であるIIASAが、京都大防災研究所と協力して開催する会議。急速な人口増加、都市化、温暖化といった課題に直面する現代社会において、いかに災害のリスクを予防し、かつその影響を軽減するかという問題について、技術的側面のみならず社会工学、また公共政策といった観点から議論。
24	セッション445 国際金融システムの課題：通貨、機関、ルールの不均衡是正	ザルツブルグセミナー	オーストリア	07.09.29～ 07.10.03	国際通貨システムをテーマとして、同分野で将来を担うことが期待される若手(各国50～60名)をフェローとして招へい。ファカルティとして各界のオピニオン・リーダーを講師に一週間寝食をともにしつつ議論を交わし、国際協調と課題解決に向けての方策を探るセミナー。29日～10月3日ザルツブルグにて開催。
25	日本と欧州連合～進展を続ける戦略的パートナーシップ	欧州研究所(ブリュッセル自由大学)	ベルギー	07.11.19～ 07.11.20	11月19日～20日に、ブリュッセルにおいて、日EUの戦略的パートナーシップの協会に資するため、日欧の有識者・学識経験者等によるセミナーを実施。安全保障、経済、文化のセッションに分かれて、日本とEUのパートナーシップ強化のための議論を展開。
26	日仏源氏物語研究パリ国際シンポジウム「源氏物語の場面、語り、時間－不透明性を核として－」	フランス国立東洋言語文化大学	フランス	08.03.27～ 08.03.29	源氏物語の場面、語り、時間という、文学作品の基本構造を構成するテーマを柱として、日本の専門家5名と、同数のフランス側の研究者とで、討議を重視する2日間のシンポジウムを開催。3月27日～29日、東洋言語文化大学(INALCO)及びコレージュ・ド・フランスにて開催。
27	ベン-アミ・シロニー教授退官記念日本研究国際会議	エルサレム・ヘブライ大学東洋学部	イスラエル	07.04.29～ 07.05.02	長年イスラエルにおける日本研究を牽引してきたシロニー教授の退官記念として、イスラエルだけでなく欧州の日本研究者及び日本人研究者が集う、中東においては比較的大規模な会議。シロニー教授の研究分野に即した3つのテーマが設定されており、研究成果発表及び研究者間のネットワーク強化を目的としている。

文化資料事業費 (1) 図書寄贈(欧州・中東・アフリカ)

海外の日本研究・教育機関の図書館及び大規模公共図書館に対し、日本関係図書を寄贈する。

合計額 20,675,656 円

	国	機関	部数
1	英国	オックスフォード大学ボドレイアン図書館 大英図書館 バーミンガム大学	3 22 49

欧州中東アフリカ交流事業費

	国	機関	部数
2	イタリア	ナポリ国立大学「オリエンターレ」	99
		ローマ大学 "ラ・サピエンツァ"東洋研究学部	31
3	オーストリア	ウィーン大学	26
4	スイス	サン・ガレン大学	15
5	スウェーデン	ストックホルム大学図書館付属アジア図書館	55
6	スペイン	マドリード自治大学東アジア研究センター	94
		バルセロナ国立自治大学翻訳通訳校	45
7	デンマーク	コペンハーゲン大学アジア研究学科	74
8	ドイツ	エアランゲン・ニュルンベルグ大学	9
		デュースブルク・エッセン大学	54
		チュービンゲン大学日本学科	26
		トリアー大学日本学科	4
		ハンブルグ大学日本学科	23
		マルティン・ルター大学	40
9	ノルウェー	オスロ大学図書館	52
10	フランス	フランス国立社会科学高等研究院	35
		リヨン第3大学	44
		トゥルーズ・ル・ミライユ大学	28
		プロヴァンス大学	25
11	ポルトガル	ポルトガル・カトリック大学	20
12	ルクセンブルク	ルクセンブルク国立図書館	22
13	アゼルバイジャン	バクー国立大学	33
		トビリシ国立大学	71
14	ウクライナ	タラス・シェフチェンコ記念キエフ国立大学	34
15	エストニア	タリン大学エストニア人文大学	53
16	カザフスタン	カザフスタン共和国大統領文化センター図書館	62
		カザフ国立図書館	14
17	キルギス	ビシュケク人文大学	31
18	チェコ	パラツキー大学哲学部	4
19	ハンガリー	コドラーニ・ヤーノシュ大学	62
		パーズマーニ・ベートル大学	18
20	ブルガリア	ソフィア大学東洋語文化センター	90
21	ベラルーシ	ベラルーシ国立図書館	23

	国	機関	部数
22	ポーランド	アダム・ミツキェヴィチ大学言語学科 ヤギェウォ大学東洋学研究所	65 21
23	ボスニア・ヘルツェゴビナ	ボスニア・ヘルツェゴビナ大学図書館	42
24	ラトビア	ラトビア大学現代言語学部	76
25	ルーマニア	デイミトリエ・カンテミール キリスト教大学 バベシュ・ボヤイ大学文学部言語学科	34 33
26	ロシア	ロシア科学アカデミー サンクトペテルブルク サハリン国立総合大学 ロシア国立人文大学 極東国立海洋アカデミー東洋語学科 ブリヤート国立図書館 ニージニ・ノブゴロド言語大学	33 73 89 19 30 41
27	イスラエル	テルアビブ大学人文学部東アジア研究学科 ハイファ大学	85 16
28	イラン	アッラーメ・タバータバーイー大学	62
29	カタール	カタール大学図書館	47
30	チュニジア	チュニス・エル・マナール大学	61
31	トルコ	ボアジチ大学 エルジェス大学文理学部日本語日本文学科	15 71
32	ジンバブエ	ジンバブエ・カトリック大学	41
33	スワジランド	スワジランド大学	100
34	タンザニア	タンザニア外交研究所	61
35	マダガスカル	アンタナナリボ大学図書館	20
36	南アフリカ	ケープタウン大学	61